



2026 年 6 月 30 日

各位

NE 株式会社
(証券コード：441A 東証グロース)
代表取締役社長 CEO 比護 則良

話しかけるだけで、ネクストエンジンが答える。

NE、業務データを AI エージェントとつなぐ「MCP サーバー」を実装

NE 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：比護則良）は、SaaS 型 EC バックエンドシステム「ネクストエンジン」において、既存 API を活用した MCP（Model Context Protocol）サーバーを実装しましたので、別紙のとおりお知らせします。



MCPサーバーを実装

「操作する」から「話しかけて確認する」へ

**話しかけるだけで、ネクストエンジンが答える。
NE、業務データをAIエージェントとつなぐ「MCPサーバー」を実装**

AIエージェントがAPI経由で、受注・売上・在庫を"話しかけるだけ"で
参照・集計できる接続基盤を整備。

NE（エヌイー）株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長CEO：比護則良、以下「NE」）は、SaaS型ECバックエンドシステム「ネクストエンジン」において、既存APIを活用したMCP（Model Context Protocol）サーバーを実装しました。

本取り組みにより、AIエージェントに話しかけるだけで、ネクストエンジン上で管理される受注・売上・在庫・商品などの業務データを参照・集計できる接続基盤の整備を進めます。

まずは、受注・売上の集計、店舗別状況の確認、商品別販売実績の把握、在庫内訳・入出庫履歴の確認、受注ステータスおよび個別注文情報の参照から対応を開始しています。

現時点では読み取り系データの参照・集計を対象としており、業務データの更新やAIによる自律実行は行いません。個別注文情報の取得においても、購入者名、住所、電話番号、メールアドレスなどの個人情報フィールドは対象外としています。

■ 背景：AIエージェント時代に、業務システムは「操作する」から「話しかけて確認する」へ

これまで、EC事業者が受注、売上、在庫、注文状況を確認する際には、管理画面を開き、必要な項目を検索し、画面上で情報を読み取ることが一般的でした。

しかし、生成AIやAIエージェントの普及により、業務システムの利用体験は変化しつつあります。「今月の売上を教えて」「この商品のフリー在庫を確認して」とAIに話しかけるだけで、必要なデータを取得・集計・要約する体験が広がり始めています。

このような体験が実用化されれば、EC事業者はデータ抽出や集計のための画面操作にかかる時間を減らし、販促企画、商品開発、顧客対応など、より価値創造に近い業務へ時間を振り向けやすくなります。

NEは、ネクストエンジン上で管理される業務データをAIエージェントが正確に扱える状態へ整備することが、エージェンティック・コマース時代のEC事業者支援において重要になると考えています。

■ APIマニュアル刷新から、MCPサーバー実装へ

NEはこれまで、ネクストエンジンAPIをAIエージェント時代の開発基盤へ進化させるため、APIマニュアルの刷新を進めてきました。

刷新後のAPIマニュアルでは、OpenAPI 3.1、Markdown、llms.txtなどを活用し、開発者だけでなくAIエージェントやAI開発支援ツールがAPI仕様を参照しやすい構成へ整備しています。

今回のMCPサーバー実装は、その次の段階として、AIエージェントがネクストエンジンAPIを通じて業務データを取得・集計するための接続基盤を整備する取り組みです。

ネクストエンジンAPIマニュアル：<https://developer.next-engine.com/>

■ MCPサーバーで対応する主な業務データ

MCPは、AIエージェントが外部システムやデータソースに接続するための仕組みの一つです。

本取り組みでは、ネクストエンジンAPIをMCPサーバーとして接続し、AIエージェントやMCP対応クライアントから、受注・売上、在庫、注文状況などの業務データを取得・集計できる接続環境を構築しました。

主に以下のような業務データに対応しています。

・ 受注・売上に関する情報

指定期間の受注件数、総合計金額、店舗別の受注状況、商品別の販売実績などを確認できます。

- ・ **在庫・商品に関する情報**

商品コードや商品名をもとに、在庫数、引当数、フリー在庫数、入在庫履歴などを確認できます。

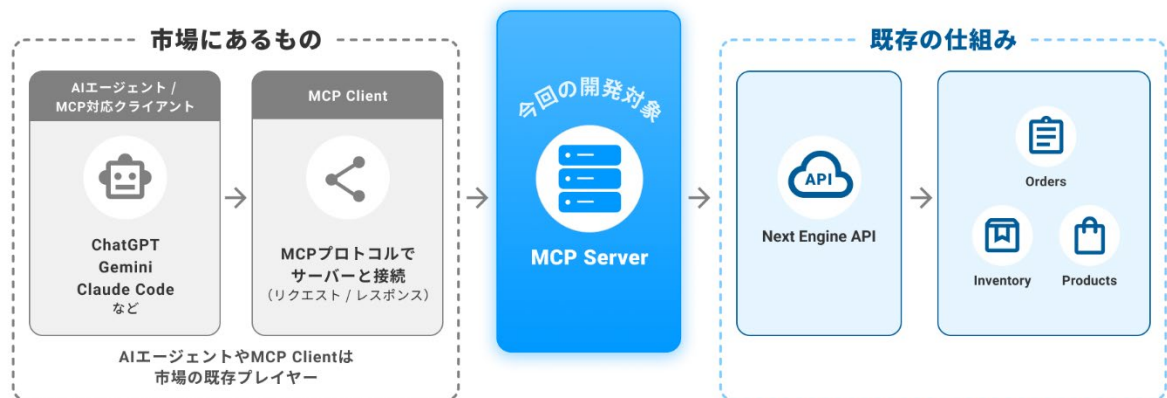
- ・ **注文状況に関する情報**

受注ステータス、入金状況、重要チェック、個別注文の詳細などを確認できます。

たとえば、「今月の受注件数と売上を教えて」「店舗別の売上を比較して」「この商品のフリー在庫はいくつか」「未入金の注文は何件あるか」「伝票番号〇〇の注文状況を確認して」といった問いかけに対し、AIエージェントがネクストエンジンAPIを通じて必要な情報を取得・集計します。

なお、日付指定を伴う機能では期間上限を設けるなど、APIサーバーへの負荷を抑えた設計としています。また、現時点では業務データの更新やAIによる自律実行は行いません。

ネクストエンジンMCP連携フロー



■ 提供開始日・提供形態

項目	内容
提供開始日	2026年6月30日
提供形態	β 版
提供対象	既存のネクストエンジン契約顧客の一部
利用形態	MCP（Model Context Protocol）
利用条件	担当営業またはカスタマーサクセス窓口より順次ご案内

アップデートについては、利用状況や顧客フィードバックを踏まえて検討・開発を進めてまいります。

ネクストエンジンMCPについて：<https://next-engine.net/lp/next-engine-mcp>

■ 今後の展開：NE LINKSへの応用と対応範囲の拡張

NEは今後、今回実装したMCPサーバーをもとに、AIエージェントが参照・集計できる業務データの範囲を段階的に広げてまいります。あわせて、スマートフォンアプリ「NE LINKS」上でのAI要約や通知など、EC事業者が日々の状況をより把握しやすくなる機能への応用も検討します。

その先には、より大きな変化を見据えています。AIエージェントが商品の比較・選定から購買・取引までを担う時代において、EC事業者の商品・在庫情報がAIエージェントへ正しく届くこと、すなわち事業者がAIエージェントに直接商品を届ける（Direct to Agent）環境は、コマースの新たな前提になると考えています。

NEは、Vision「Commerce OS for the Agent Era」およびMission「Build the Invisible Engine」のもと、ネクストエンジンをAIエージェント時代のコマースOSへと進化させてまいります。

■ ネクストエンジンについて

ネクストエンジンは、EC事業者向けのSaaS型ECバックエンドシステムです。受注、発注、仕入、在庫管理、商品情報の管理、分析まで、ネットショップ運営に必要なバックヤード業務を一元化し、効率的な運営を支援します。

主な特徴は以下の通りです。

- ・ 受注、在庫、商品の一元管理から分析等、ネットショップ運営に必要な機能を集約
- ・ 対応可能なモールは業界最大級の50以上
- ・ ネクストエンジンアプリによる柔軟な機能拡張
- ・ ネクストエンジンアプリの開発・販売プラットフォームを提供
- ・ 契約社数：6,700社超

ネクストエンジンは、EC事業者の成長を継続的にサポートし、AIエージェント時代のECバックエンド基盤としてさらなる進化に取り組んでまいります。

URL： <https://next-engine.net>

■ NE株式会社について

「コマースに熱狂を。Love Commerce.」を企業文化に掲げ、EC事業者の成長を支えるSaaS・支援事業を展開しています。EC支援・SaaS事業、コンサルティング事業、コマーステック事業の3領域で事業を推進し、AIエージェント時代のコマースインフラとしての地位確立を目指します。

名称	NE株式会社
代表者	代表取締役社長CEO 比護 則良
所在地	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3丁目2-3 EPIC TOWER SHIN YOKOHAMA 16階
設立	2022年5月2日
上場市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：441A）
資本金	275,956千円（2026年4月30日現在）
事業内容	EC支援・SaaS事業、コンサルティング事業、コマーステック事業
企業サイト	https://ne-inc.jp

■ 本記事に関する問い合わせ

担当：NE株式会社 広報担当

e-mail：pr@ne-inc.jp

電話：03-4540-6512